

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度第1回理事会報告

○日 時：令和7年4月10日(木) 13:00-16:25

○場 所：JSOSビル3F会議室5 及びZoom

○出席者：蛭田会長、古賀・吉田(15:35～離席)各副会長、小野寺専務理事、赤尾事務局長、野村・町田常務理事、小高・小田部・栗田(14:30～15:30 離席)・佐藤・島田・中島・西谷・畑中・樋口・平田・前田・望月・安井各理事
以上20名
佐久間・古屋監事 以上2名

○欠 席：杉本・中橋・濱田各理事 以上3名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

2024年度の収支については、ほぼ、収支とも拮抗している状況と認識していますが、最終決算に向けて、皆さんからの御協力をいただきたくよろしくお願ひします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中20名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))

監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号 議事録の承認について

理事会議事録の承認について(事前送付済)

令和6年度14, 15, 16回理事会議事録について

承認されている。

議案第3号 SC 関連3社との契約について

町田SC部長が、従来の契約内容との違いを説明した。

その後、採決を取り、3社の契約内容について異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 20名

議案第2号 新役員選考について(現状報告)

古賀副会長が4月11日に、対面で役員選考委員会を開催予定であり、公平性を確保した上で5月、遅くとも6月の理事会に上申したい旨説明した。その後、以下のように複数意見が出た。

- *総会での新役員承認直後に、新体制での最初の理事会が行われるがその後の運営をスムーズに進めるため(7月10日理事会には、理事毎の役務の提案決定)に、三役、及び理事にどう役務を振り分けるかを含めた人事の方針、手続き案を用意しておいた方が良いのではないか。
- *例えば、常務理事候補くらいは、はじめに決めてほしい。
- *これまでの理事会の協議内容をわかるような役員が選考されること、委員会(適所)の役割は明瞭なので、その適所に合わせて人材が任命されることを期待する。
- *新役員から会長をどう決めるのかの方針も明確にしてほしい。
- *JMCAの現在の課題は、現理事が取りまとめて、方針をある程度決めることが必要。

古賀副会長が、今回出された意見を加味して、4月11日の役員選考委員会に反映する予定と補足説明した。

議案第4号 選手選考基準について

(ガバナンス委員会に諮る前だが至急ということで議案となった。)

西谷理事が、従来選考基準との違いを説明した。

後日行われるガバナンス委員会での最終見解を加味することを条件として、採決を取り、以下のように異議なく承認された。

SC 国際競技大会ユース日本代表選考基準について

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 20名

SC 国際競技大会ユースリード・ボルダー強化選手選考基準

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 20名

議案第5号 RED 規程の改定

(ガバナンス委員会に諮る前だが至急ということで議案となった。)

西谷理事が、従来規程との違い(規程名の変更と、心拍と血圧の指標が追加)を説明した。また、補正予算の必要性を確認した。

後日行われるガバナンス委員会での最終見解を加味することを

条件として、採決を取り、以下のように異議なく承認された。

反対 0名、 棄権1名（望月理事）、 賛成 19名

14:32 - 14:40 休憩

7. 報告

報告第1号 月次報告、決算状況、キャッシュフロー

赤尾事務局長が3月末時点の収入と、支出の現状（途中報告）を説明した。現時点の数値は、3月末までに発生した入出金に伴う分の結果であるが、以下の3つ情報が未反映なので、あくまで参考値としてほしいと強調した。

-未払金（3月末までに事業を執行したが、支払い処理をしていないもの）

-未収金（上部団体からの精算補助金額、他団体からの未振り込み分等）

-決算処理（消費税支払い、減価償却費計上、引当金計上、など）

また、キャッシュフローについては、

3月度に、銀行やその他からの追加借入、共済会からの前倒しなどにより、4月度初として、7200万円現金がある。

今後、4-6月にかけて、前述の未払、未収金が発生する。また、想定と異なる事態（令和7年度JOCからの強化費減）が発生したので、6、7月に2-3月に行った追加借入金の返済をすることで、前回の計算から資金繰りがかわることを補足説明した。

上部団体（JOC, JSC）の令和7年度補助金額が明確になった時点で、現行予算から、事業規模の見直しが必要なことを伝えた。

また、SC強化で4-5月に予定している3大会への選手派遣の予算執行は、当初予算の想定をベースにした執行とするが、その後の大会については、令和7年度で決定した補助金に基づいた補正予算を策定することを条件とすることになった。

報告第2号 財政再建計画について

小田部理事が、画面から、組織と収支管理の見直しの一案としてカンパニー制（事業部制）の紹介をした。複数の意見が出たが、当件について、小田部理事が財政再建委員会に加わり、一つのワーキンググループとして検討を進めることになった。

報告第3号 委員会常任委員について

小野寺専務理事が、クライミング普及委員会、国スポ委員会、技術委員会（セッターのみ）の委員の変更内容を説明し、常務理事会で承認されたことを伝達した。

報告第 4 号 共済会からの報告について

望月理事が、画面から A 社から提携の申し入れがあり、共済委員会で検討してきた概要を報告。1 年毎の契約更新という条件をつけ、提携を結ぶ方向で協議していくこととし、提携文書が正式に決まったら理事会に上程し決議とする予定。

また、日山協山岳共済会加入状況やスマホで加入しやすくなったことを報告。

報告第 5 号 登山部報告について(口頭)

野村登山部長が、登山部として以下の 2 点を報告した。

1. 「そうよ そうなの遭難よ」については、再開することは難しく、今期はやらないことになった。
2. オリエンテーリング協会からの外部理事招請について書類提出済で結果待ちの状況であることを伝えた。

報告第 6 号 全日兵庫大会について

古賀副会長が、チラシ作成が完了したので、月報に掲載予定。

各岳連への配布は、負担にならないような枚数を検討することを伝達した。

補助金の岳連への支払い時期は、4、5月の補助金概算払分の入金以降が望ましい。

報告第 7 号 「百万人の山と自然」後援名義について

小野寺専務理事が、例年行われている標記後援名義申請が、常務理事会で承認されたことを報告した。

報告第 8 号 A 級、C 級審判資格審査結果について

小野寺専務理事が、当結果を紹介し、常務理事会で承認されたことを伝達した（C 級及び、A 級合格者）

望月理事が、C 級試験に落ちた人(関東は合格率 6 割)が復活できるような救済策の検討をお願いしたいという要望を出し、検定担当者に伝える事になった。

報告第 9 号 IFSC 次期会長/副会長候補者について

小野寺専務理事が、会長が2名立候補していること、副会長として男性2名、女性2名の枠に小日向氏が立候補していること、JMCSAのとりまとめ(全権)として、水村氏が担当していることを伝達した。

報告第10号 令和7年度総会向け総括・決算等報告準備について(口頭)
令和6年度の総括と決算を行う。5月の理事会で議案を提案予定。

8. その他

- *小田部理事が、岩手クラファン事業の状況報告と、事業への理事の参加、SNS JMCSA Official で“いいね”をぜひ押し欲しい(1回・1名)との要請をした。
- *次回SCオリンピック種目について、ボルダー、リード、スピードの3種目となり、参加者数は、68名から76名(3種目)となることを報告した(安井理事)。
- *JMCSA フレンドの今後の運用について、4月17日に、今後の展開について内部会議を行うので、その結果をうけて、全国への案内文の作成と結果を全国に流す予定(蛭田会長)。

令和7年4月10日

記録 赤尾 浩一

以 上